

分譲宅地造成工事順調に進行

今月十日には大部分が完成

市民のための分譲宅地として、所野地内で現在、造成工事が急ピツチで進められています。工事は、県道側の盛土工事と上・下水道工事がすでに終わり、街路築造工事は、舗装工事を残すのみになりました。現在は、公園・緑地帯の整備、分譲地内の道路舗装工事、油川の

護岸工事と安全対策のネットフェンス取り付け工事などを行ってまいりますので、今月十日ごろには宅地造成工事の大部分が終了します。その後は、区画境界ぐいの取り付け工事、公園と緑地帯の整備と植栽などを行えば、宅地造成工事は完成します。この分譲地は、県道側に緑地帯

が五か所、公園が一か所造られ、広さは分譲面積の三〇・三八%を占めています。四季とりどりの日光連山を一望にできる場所にあり、生活環境には非常に恵まれた分譲宅地が生まれようとしています。

【写真】所野分譲宅地造成工事

唐沢避難小屋完成

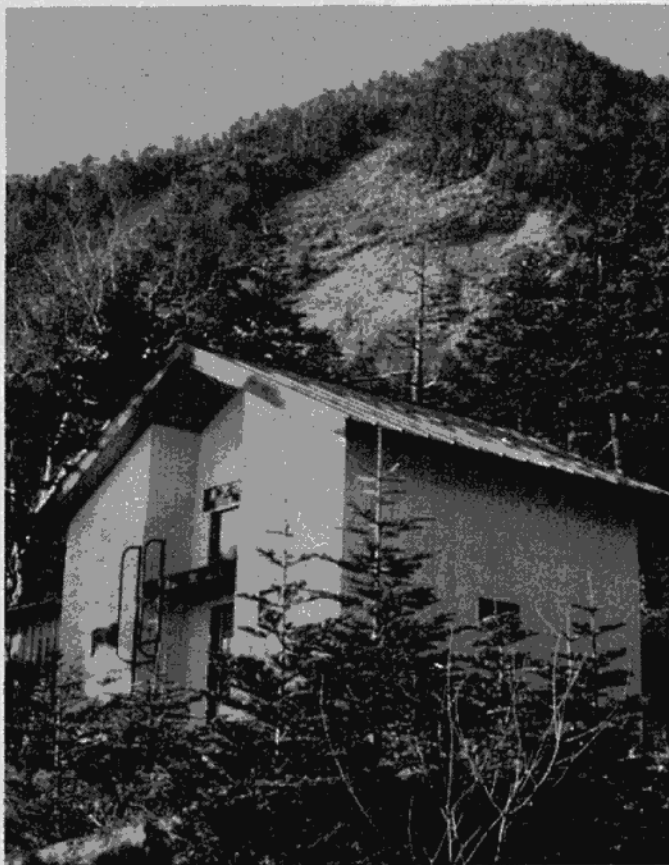
栃の葉国体にも使用

女峰山は、登山者が年間約三万人ありますが、日光連山の中でもコースが長く厳しい山です。頂上

手前の重要地点、唐沢には、これまで唐沢避難小屋（無人）があり、これまで多くの登山者が利用して

きましたが、建設以来年月を経ていて、いたみがひどくなっていました。来年の栃の葉国体では、日光で山岳の種目が実施されることから、小屋の改築が検討されていきましたが、主要コースで必要との結論から新築、このほど新しい唐沢避難小屋が完成しました。

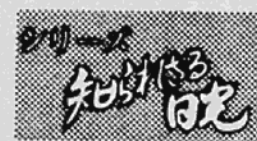
完成した唐沢避難小屋



完成した小屋は、木造平家建一棟で、床面積は五九・六二平方メートル、約二十五人の収容力がある立派な避難小屋です。現場が山上のこと、資材運搬にヘリコプターを使用するなど苦勞の多い工事でしたが、総工費七五万円、工期も約二か月で完成しました。

来年の国体では、女峰山が競技のコースになっていて、この小屋が使用されますが、それ以外は、一般登山者のために開放されています。

表紙のごじは



外国語が刻まれている石碑

日光には、おびただしい数の石碑があるが、中でも目を引くのが、外国語を刻んだ石碑である。今回は、そのいくつかを紹介しよう。

安良沢橋のもと、日光側に「愛馬の碑」と呼ばれる石碑がある。上部に、馬頭観世音とあり、その下に英文で、MRS ANNIE G. THRINGとあり、さらに四行ほど英文が刻まれている。和文では、「此の街道を往來する駄馬の苦痛を見て、深甚なる同情心をおこされたる英国人アン・シーリング夫人の記念として茲に此文字を石に刻し、旅客並びに馬子諸子の是等動物にいつそう親切ならんことを望む 大正二年十二月建之」とあり、大正初期、旅客や荷駄の使役に、むち打たれている馬を見て、同情心を起こし